

### ぽかぽかのお花見

3月30日、福德泉公園で「藤岡みどりを推薦する会」初のお花見をしました。

気になる桜の花も見ている間に、一つまた一つと開いているのではないかなと思わせるような、暖かな日差しがふりそいでいました。



みどりさんからのワクワクレポート手配りのお礼や近況報告の後、みんなで輪になって『いざ、お弁当タイム〜』となりました。「桜の下で、お弁当食べるの何年ぶりかな〜…」という声も聞こえてきます。手作りクッキーなどの差し入れもあり、この時ばかりは「減量中」の看板もおろして、みなさん美味しくいただきおしゃべりの花も咲きました。心配していたお天気も抜けるような青空となり、やっぱり「みどりさんは晴れ女」ですね。どうか、あの空のように高く澄んだ志を貫いてください。応援しています。(A.O)

### 催事アルバム



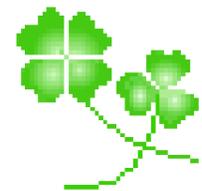
(避難用テントの説明をする藤岡)



(西高柳運動会中の避難訓練の様子)



(ウォークラリーにおける史跡めぐりの様子)



# 藤岡みどりの

# ワクワクレポート



第4号

2009. 7.01発行

発行：藤岡みどりを推薦する会 代表 大西多美子・松前町議会議員 藤岡 緑  
〒791-3132 愛媛県伊予郡松前町西高柳255-1

☎ 089-989-3132 FAX 089-989-3131 ホームページ <http://www.fujioka-midori.jp>

不況にも負けず、泳ぎ続けます..



いよいよ冷たい麦茶やスイカがおいしい季節となりこれから暑さも一段と厳しくなります。

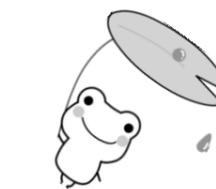
厳しいと言え、なかなか上向きにならない景気に政府も大型補正予算を組んで定額給付金支給や高速料金の土日・祝日の1,000円一律化など、次々に手を打ちましたが、一時的な経済効果はあっても全体の底上げには繋がらず、結果5月に内閣府がGDP速報値、年率換算で15.2%減と発表しました。これは戦後最大の下落幅となります。

その上、新型インフルエンザという姿なき脅威が人々の生活に大きな影響を与え不況に追い打ちをかけています。

とはいえ、こんな時だからこそ荒波にも耐えて皆なで知恵を出し合い、エコでスリムな手法が問われ、中身は人にやさしいまちづくりを目指していかなければならないでしょう。まさに人にやさしい色『みどり』になれるよう頑張ります。



皆さんからのご意見・感想をお待ちしています。お手紙・メール、直接お電話でも結構です。メールアドレス [fujioka.midori@gmail.com](mailto:fujioka.midori@gmail.com)



### ご意見・ご感想コーナー



あつたらしいのに十一。でもないのです。何故ないのだろうか？ 考えてみたけど、やっぱり欲しい 資料館！

城主 加藤嘉明と共にお城も松山へ引越し、<sup>まさきまち</sup>松前町まで出来てここ松前町には城跡のみ残っているのが実情です。お蔵のある古い家々は残っていますが、それらを掃除して捨てようとした品々の中には松前町にとって大切な人の書などもあり、表装してその家のお宝として飾ったりしています。またある人は捨てられた古いアルバムを見ると窪田節二郎さんの家の貴重な写真だったことに気付いたりとか…。

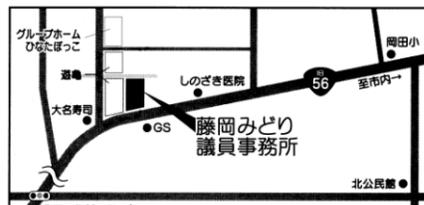
既存の建物の有効利用からでも「資料館」を作らないと、松前の歴史が消えてゆくことになるかも…。藤岡議員さんが他地域も見て感じて、そしてご尽力下さることを願っています。(H.K)



### 事務所スタッフ常駐時間帯

(月・水・金) AM9:00~PM5:00

(火・木) AM9:00~正午まで



### 編集後記

季節の移り変わりは早いものですね。もう夏本番となりました。

この半年間、いろいろな噂？が飛び交い皆さまのお耳にも入り、要らぬご心配をお掛けしたかと存じますが、このレポートをご覧下されば藤岡議員がこの間、何を思い、何をしていたかご理解いただけだと思います。『初心を忘れず』の精神で常に努力しております。この先も皆さまのご意見に耳を傾け邁進すると思っておりますので、温かいご声援をお願いいたします。(K.I)

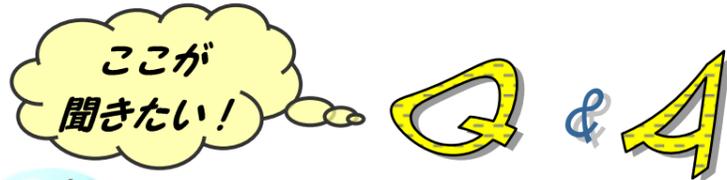
### 今後の活動予定 (21年度下半期にかけて)

ますます厳しくなる経済情勢の中で、いかに快適に安心して生活できる環境を保持していくかが、当面の課題となるだろう。以下の通り、今私が現在取り組んでいるものと、新たに加えた活動をさらに具体化していきたい。

- ① 地域防災の推進 → 啓蒙活動のツールとしてパワーポイントの完成
- ② 少子化対策 → 子育て支援、教育支援、30代世代の生活実態調査
- ③ 高齢者福祉、自宅介護の環境改善 → サロン活動や現場の事情調査
- ④ 郷土の歴史文化財保護・保管 → 拠点施設整備にむけて体制づくり
- ⑤ 地域資源、人材活用で元気な町づくり → コーディネーター的役割
- ⑥ 食育と循環型社会推進 → 食品環境問題、資源ごみ分別学習、広報
- ⑦ 男女共同参画推進 → 基本計画見直しから見える問題点の改善対策

EX: 数値目標にむけて、長・短期的取り組みや施策の考案





3月

**Q 定額給付金を支障なく給付できるように**

A. 世帯主が体の不自由な独居老人である場合・・・民生委員、見守り推進委員さんに代理申請や介助をお願いして対応します。

住民票通りに住めない事情のある人の場合・・・他市町村での長期入院患者やDV被害者など具体的事例があれば関係各課と連携を図り、必要があれば国・県と相談して対応。その窓口は企画財政課が管轄し、庁内では関係各課からなる事務連絡会を設置しています。

▷◁ 深刻な案件が少ないのか、危機感のない回答に終始。

6月

**Q ふるさと納税について  
(当町の実績、具体的用途、今後の取り組み)**

A. 出身地など任意の自治体に寄付する「ふるさと納税」の制度導入から1年経過して、その間に19名から256万円の寄付がありました。

使い道については、寄付者の意向（保健、医療、福祉、教育など）に沿ったものになるよう具体的な取り組みを現在検討中で決まり次第報告し、広報して更に多くの人々の制度利用を呼びかけます。尚、寄付者のお礼として特産珍味を出しています。

▷◁ 貴重な浄財をどう形にするかを、贈った人は見えますよ

**Q レジ袋有料化の動きについて**

(CO2 排出削減運動の一環として)

A. 県内で初めて取り組んだ新居浜市の自治体主導型「レジ袋有料化運動」は、市内のスーパー約8割を巻き込みレジ袋辞退率80%に押し上げるなど評価できる取り組みです。当町の場合は、近隣の市町と連携した広域的な取り組みでないとその効果は期待できません。

今後もノーレジ袋、エコバッグ普及活動など町民とともに広報活動を進めCO2削減運動に取り組んでいきます。

▷◁ せめて優れた事業者認定制度など、もう少し踏み込んだ施策がほしい

✿ 自主的研修活動 ✿



☆ 地域づくり養成講座 「集い・学び・紡ぐ 愛媛の地域づくりの未来」 (2009.1.24) ウェルピア伊予



「えひめ地域づくり研究会議フォーラム2009」に参加。全体会のあと約2時間、3つの分科会に分かれ5人のパネリストを囲んで実践発表、コーディネーターからの質疑、フロアとの意見交換と続いた。

私はテーマ「体験・交流事業を核とした地域づくり」の内容に対して5人の発表を聞いた。特に今治市のしまなみグリーン・ツーリズム推進協議会と双海町の翠地区ほたる保存会の皆さんの活動にヒントを頂いたように思う。人を惹きつける魅力あるまちづくりの材料として、其処にしかない**地域資源と郷土料理**がある。私が今できることは、上記のような材料を掘り起こそうとしている人々や仲間をサポートしていくことだろう。それには、自分自身の地域づくりに対する研ぎ澄まされた感覚や修練がまだまだ不足しているなと痛感した。



☆ コムズフェスティバル パネルディスカッション 【女性が考える防災】 (2009.2.7) コムズ

私が松山市の仲間と活動しているグループ「2004を受け継ぐ会」で企画した【女性が考える防災】で、今回はコーディネーターとして関わり、3人のパネリスト

- ① 阪神大震災の経験後、復旧復興の地域ボランティア活動家
- ② 松山市にお住まいの30代、ママさん防災士
- ③ 松山市職員で危機管理部門所属、防災のスペシャリスト



をお招きして各々の立場から素晴らしい提言を頂き、ほぼ満員となった会場で **防災こそ男女共同参画で考えるべきテーマだ** と結論づけることができた。今後の松前町内の地域防災にも反映できるよう更に活動を充実させたい。

☆ 議員を囲んでの「ワイワイ座談会」 (2009.2.9) 松前庁舎



私も所属するネットワーク松前（ずーっと住みたい松前町を目指して活動するグループ）が企画した第2弾の現職議員との座談会は、和気藹藹の雰囲気の中で楽しい意見交換会となった。前回は女性議員だけを対象としたのだが、今回は男性議員だけが所属する総務・文教の常任委員会のメンバーに来て頂いた。普段はなかなか聞けない本音トークもあつたりで住民との距離も縮まり、また議会への関心も深まるなど意義ある座談会となったと思う。

☆ 松前史談会と行く県外研修 加藤清正ゆかりの熊本城、西南の役を決する田原坂、滝廉太郎の愛した郷土などを訪ねる旅～ (2009.5.12~14)



午前6時30分松前庁舎をスタート、一路海を越えて大分佐賀関へ。総勢24名を乗せた大型バスは最初の目的地【田原坂】へと進み、西南の役で官軍と薩摩軍が激突し多くの死傷者を出した跡地に佇み、明治政府誕生から新生日本を創る激動の時代を感じた。

その後加藤清正の菩提寺である【本妙寺】へ。325段のきつい石段を上ると熊本市が一望できる広場があり、清正公の石像も立っていた。

翌朝9時より【熊本城】を4時間かけて散策。城主は加藤家2代、その後は細川家が長く続いたのに、清正公の人気は熊本では未だに高い。【水前寺公園】【白川郷】と名水の源をめぐった。夜は秘湯垂玉温泉で宿泊。明朝早く雄大な阿蘇山国立公園を抜け竹田市に。23歳で亡くなった日本の楽聖と呼ばれる滝廉太郎がこよなく愛した郷土と【岡城跡】を訪ねた。盛り沢山の研修だったが、私は歴史を過去の事実と捉えるよりその時代を必死で生きてきた人々のロマン溢れる悲喜劇としたい。(松前史談会の皆さんの熱い探究心に触発されたのかもしれないが・・・)



主な活動記録

1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防出初式</li> <li>・ 広報委員会</li> <li>・ レポート配布</li> <li>☆地域づくり養成講座</li> <li>☆コムズフェスティバル</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆議員を囲んでの座談会</li> <li>・ 和楽園理事会</li> <li>・ 3月定例議会 一般質問</li> <li>・ 常任委員会</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松前保育所見学</li> <li>・ 小・中学校卒業式</li> <li>・ 広報委員会</li> <li>・ 保育所入園式</li> </ul>
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小・中学校入学式</li> <li>・ 全員協議会</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明るい人権町づくり大会</li> <li>☆史談会県外研修(熊本)</li> <li>・ ネットワーク松前総会</li> <li>・ 2004を受け継ぐ会総会</li> <li>・ 環境セミナー</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月定例議会 一般質問</li> <li>・ 常任委員会</li> </ul>

